

【地域医療構想調整会議用】病院整備計画の概要書

1 医療機関の名称・所在地・所在二次保健医療圏

医療法人あかつき会はとがや病院

埼玉県川口市坂下町4-16-26 （南部医療圏）

2 開設者の名称・所在地

医療法人あかつき会 理事長 東 真樹

法人所在地：埼玉県川口市坂下町4-16-26

3 医療機関の現状

病床数

病床機能区分	病床種別	許可病床数	稼働病床数	非稼働病床数
回復期機能	一般病床	40	40	0
慢性期機能	療養病床	60	60	0
計		100	100	0

病床利用率（平均）

一般病床	療養病床	地域包括ケア 病床	回復期リハビリ テーション病床
	98.5%	86.0%	

4 開設等の目的、整備方針、必要性

① 開設の目的

当院の属する南部医療圏は、高齢化が進む一方で、人口は大きく減らない見込みです。特に当院のある川口市に目を向けると、2050年まで人口は60万人前後で推移する一方、65歳以上の高齢者は19万人を超えることが推計されています。高齢者人口が増えることにより、それに見合った医療、介護サービスを提供していく必要があります。長期的にそれらの方々を下支えしていくためには、切れ目のない回復期医療の提供が重要になってくると考えます。当法人は、急性期後の様々な医療・介護サービスを提供しており、今後ますます利用者が増加することが見込まれます。それらの方々が安心してご利用いただくために、受け入れの起点となる「地域包括ケア病床」を拡充することは必要なことであり、それにより、当医療圏の地域包括ケアシステムのより一層の充実に寄与することをお約束いたします。

② 地域医療を支えていくために自院が圏域で果たす役割、機能

当院は、在宅療養支援病院として、これまでも訪問診療に力を入れ、慢性期、終末期の方々がお家で過ごせるよう、医療を提供してまいりました。訪問診療の介入患者は年々増え続けていますが、これは当院の地域包括ケア病床では、これらの在宅療養患者の急性増悪時（サブアキュート患者）の積極的な受け入れを行っており、安心して当院に診療を依頼できるということが大きな要素となっております。

また、地域包括ケア病床のもう1つの機能として、急性期後の患者のリハビリ、在宅調整・介護調整という点がありますが、すでに急性期機関から積極的な受け入れを行っております（急性期機関からの年間紹介数(問い合わせ件数)は、400件程度）。急性期後の患者を、着実に地域の医療・介護サービスにつなげ、地域での生活が続けられるよう支援を行っております。

- ③ 現在の体制で対応できていない患者と今後の見込み（増床の必要性）
 上記役割を果たす一方で、特にここ2年ほどは、病床混雑が理由となり、スムーズな受け入れが困難な期間が増えております。在宅患者の急性増悪のケースにおいて、入院をお待たせしたり、止む無く急性期医療機関への紹介することもしばしばです。また、急性期機関からの受け入れも、希望日に調整できず、急性期機関での待機入院日数が長引いてしまっているという状況も散見されます。
 これらをスムーズに受け入れることで、急性期機関の負荷を減らすことができ、については、患者、家族への様々の負担が減っていくことと考えます。
- ④ 新たに整備する病床が担う予定の病床機能、医療機能と地域医療構想における当該二次保健医療圏の病床の機能区分ごとの将来の病床の必要量との関係性
 新たに整備する病床は、地域包括ケア病棟として、運用予定です。すでに、当院では地域包括ケア病棟（40床）を運用しておりますが、2025年には、医療圏の在宅療養患者の増加が見込まれており（2017年→2025年の間に訪問診療を必要とする患者が1500人強増える推定（<https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/3048/keikaku.pdf> 209ページより）、当院が訪問診療を行う患者も必然的に増えていくものと見込んでおります。在宅療養支援病院として、在宅療養患者の積極的な受け入れ、訪問診療体制の強化、急性期病院に入院した在宅患者の積極的な受け入れと在宅復帰支援を実施していくために病床が必要となると考えています。
- ⑤ 当該医療機能を担う上での、雇用計画や設備整備計画の妥当性
 当該病床を整備するため、医師1名、看護師12名、看護助手6名、薬剤師1名、リハビリスタッフ（PT・OT）2名、MSW1名が必要になると考えています。医師は、現在非常勤で勤務している医師が、常勤雇用を希望しており採用したいと考えています。その他職種は、当院ホームページ、ハローワーク、人材紹介会社などを通じて、雇用していく予定です。不足の場合は、人材派遣会社などの利用も検討したいと思います。
 設備整備は、既存の病床の改修を実施する予定です。ナースステーションの配置場所の見直し、個室病床の多床室化などを実施し、病床を整備します。また、感染症患者の受け入れが行えるよう、簡易陰圧装置の使用可能な部屋を整備します。

5 開設等の計画の具体的内容

(1) 整備する病床の機能・数 整備計画病床 25 床

病床機能区分*1	医療機能*2	病床種別	入院基本料 特定入院料	病床数
回復期	在宅医療	一般	地域包括ケア病棟入院料 I	25
計	—	—	—	25

(2) 整備する病床数の根拠

①病床数の考え方

- ①現在、急性期機関から毎月40件前後の入院相談がある（2021年度実績 485件/年）が、実際、入院につながっているのは20件前後で、その他は、迅速な受け入れが難しいため断っている状況である。待機患者数を月平均20件として、 $20人 \times 12か月 \times 37.8日$ （2021年度平均在院日数） $\div 365 = 24.85床$ が必要である。また、訪問診療患者の増加（2025年までに、居宅患者が100名程度増えると想定）した場合、5床程度必要となる。院内で確保できるスペースを考慮し、今回は25床を申請したい。
- ②地域包括ケア病棟25床を運用することを想定しており、取り扱う症例として、
- (1) 急性期機関から在宅復帰を調整するポストアキュートの症例
 （リハビリや在宅介護調整などを要する患者、院外より受け入れ、入院患者の65%を想定）
 - (2) 外来・在宅療養患者の急性増悪等に対応する症例

病院整備計画申出者（法人名）医療法人あかつき会

（在宅がん患者の急性増悪、肺炎、尿路感染症、レスパイト、ADL低下による介護困難などの患者、主に院内より受け入れるが、地域ケアマネからの紹介なども想定、入院患者の20%を想定）

（3）急性期機関では対応の難しい看取り症例
（急性期対応は終了しているが、余命短く（概ね2か月程度以内）、看取り対応となる患者、主に院外より受け入れ、入院患者の15%を想定）

を予定している。特に（2）については、病状悪化や入院そのものにより従来の介護サービスでは不足し、様々な調整を必要とすることがあり、入院が長期化する傾向にあるため、余裕を持った病床運営が必要となると考えています。

②-1 増床する病棟の概要

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
3B 病棟	40 床	回復期	37.0 日	86.0%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	地域包括ケア病棟入院料 1	
診療科 内科，消化器科，循環器科，整形外科，皮膚科，リハビリテーション科，形成外科，肝臓内科，神経内科				
患者の受入見込み (※名称、数値（人数、病床数に占める割合）について具体的に記入してください。)				
【増床前】 (1) 急性期病院からの転院：年間 147 人 川口市立医療センター：81 人 済生会川口総合病院：10 人 埼玉協同病院：6 人 戸田中央総合病院：5 人 他		【増床後】 (1) 急性期病院からの転院：年間 220 人 川口市立医療センター：122 人 済生会川口総合病院：20 人 埼玉協同病院：10 人 戸田中央総合病院：8 人 他		
(2) 在宅からの入院：年間 162 人 うち自院外来から年間 26 人 うち自院および在宅療養支援病院 連携医療機関訪問診療から年間 134 人		(2) 在宅からの入院：年間 190 人 うち自院外来から年間 26 人 うち自院および在宅療養支援病院 連携医療機関訪問診療から年間 160 人		
(3) 介護施設からの入院 年間 39 人 うち 特養ひかり苑 から 年間 12 人 うち 老健ねぎしケアセンターから 年間 13 人		(3) 介護施設からの入院 年間 50 人 うち 特養ひかり苑 から 年間 12 人 うち 老健ねぎしケアセンターから 年間 13 人 他		
(4) 訪問診療を行う患者数 年間 5,393 人 (月間 449 人×12 か月、在宅療養支援病院 連携医療機関含む)		(4) 訪問診療を行う患者数 年間 6,000 人 (月間 500 人×12 か月、在宅療養支援病院 連携医療機関含む)		
医療（介護）連携見込み (※具体的に記入してください。)				
【増床前】 ○紹介元： 川口市立医療センター 済生会川口総合病院 埼玉協同病院 戸田中央総合病院 川口工業総合病院 あずま在宅クリニック 朝日橋ひだまりクリニック		【増床後】 ○紹介元： 川口市立医療センター 済生会川口総合病院 埼玉協同病院 戸田中央総合病院 川口工業総合病院 あずま在宅クリニック 朝日橋ひだまりクリニック		

病院整備計画申出者（法人名）医療法人あかつき会

特別養護老人ホームひかり苑 老健ねぎしケアセンター など ○紹介先： あずま在宅クリニック 医療法人あかつき会はとがや介護医療院 特別養護老人ホームひかり苑 老健ねぎしケアセンター まごころホーム三ツ和 ウェルハウス安行吉岡 シーハーツ川口 など	特別養護老人ホームひかり苑 老健ねぎしケアセンター など ○紹介先： あずま在宅クリニック 医療法人あかつき会はとがや介護医療院 特別養護老人ホームひかり苑 老健ねぎしケアセンター まごころホーム三ツ和 ウェルハウス安行吉岡 シーハーツ川口 など
--	--

②-2 既存病棟の概要

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
2B 病棟	60 床	慢性期	606.6 日	98.5%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	医療療養病棟入院料 I	
診療科 内科，消化器科，循環器科，整形外科，皮膚科，リハビリテーション科，形成外科，肝臓内 科，神経内科				
診療実績 (※整備する病床に関連する実績を記述してください) ○急性期後の支援・在宅復帰への支援の状況、全身管理の状況、疾患に応じたリハビリテ ーション・早期からのリハビリテーションの実施状況など(回復期) ①急性期後の支援・在宅復帰への支援 全ての患者に、入院前面談時より担当相談員を配置し、急性期からの入院をスムーズに実 施しつつ、希望に寄り添った、退院調整、在宅復帰支援を実施しております。 ②全身管理の状況 必要に応じて、モニター装着等、急性期の全身管理に準じて実施し、対応困難な場合は、 急性期病院に転院することもあります。 ③疾患に応じたリハビリテーション・早期からのリハビリテーションの実施状況 ・昨年度の地域包括ケア病棟におけるリハビリテーション実績は、2.02 単位/人/日 ・原則として、入院日よりリハビリテーションを実施し、各患者の目標に合わせたリハビ リを提供してまいります。				

③ 医療（介護）連携における課題・問題点と対応

○回復期、慢性期医療機関：在宅医療連携拠点、市町村、ケアマネージャーとの連携 状況、待機患者の状況、在宅への移行は円滑に行われているか、等 当院は在宅療養支援病院として、月間450人近い方に訪問診療を提供しております。訪問 診療を開始する過程において、ケアマネージャーや訪問看護師、地域包括支援センターや 生活保護のケースワーカーとの連携は必須要件であり、退院前より何度か来院していただ き情報共有を図るとともに、退院調整カンファレンスを実施し、スムーズな在宅移行が実 施できるよう、努めております。 一方で、入院待機期間は、稼働率が高くなるとともに、長くなる傾向にあり、急性期病院 からのスムーズな受け入れが難しくなっている（5年前に比して、入院待機期間が1週間 程度長くなっている。）

(3) 計画敷地

	面積	取得予定時期	取得状況
取得済	5138.25㎡		所有・借地
仮契約済	0㎡		所有・借地
取得予定	0㎡		所有・借地
計	5138.25㎡		

(4) 計画建物

工事種別	新築・増築・改修・その他（ ）
概要	<p>以下の通り、改修予定です。</p> <p>4階：リハビリ室および職員共有部を、医療療養病棟(50床)に改修</p> <p>3階：40床の地域包括ケア病棟→合計65床の地域包括ケア病棟および10床の医療療養病棟に改修</p> <p>1床室（10室）→2床室に変更（10床増）</p> <p>4床室（3室）→6床室に変更（6床増）</p> <p>ナースステーション移設、空きスペースの活用により17床増病棟の一部を医療療養病床に変更（10床）</p> <p>2階：医療療養病棟60床を、介護医療院68床に改修 （今回の増床公募に合わせ、併設の介護医療院の増床および医療療養病棟の介護医療院への転換を実施予定です。（77床増、合計175床の介護医療院を開設予定。）</p> <p>1階：リハビリ室の移設 等</p>

(5) 医療従事者（※確保予定の人員には、増員となる人数を記載してください。）

職種	現在の人員（人）			確保予定の人員（人）		
	常勤	非常勤		常勤	非常勤	
		実人数	常勤換算		実人数	常勤換算
医師	3.00	39.00	8.83	1.00	0.00	0.00
看護師	26.00	4.00	2.01	12.00	0.00	0.00
その他	60.00	11.00	8.24	12.00	0.00	0.00
計	89.00	55.00	19.08	25.00	0.00	0.00

確保状況・確保策、確保スケジュール

① 医師：1名 現在非常勤で勤務している医師が、常勤雇用を希望しており、採用予定です。
② 看護師：12名 当院ホームページ、ハローワーク、人材紹介会社などを通じて、雇用していく予定です。看護師の応募は、現在も多くあり、断っている状況であるので、現在の雇用形態、処遇にて採用可能と考えています。
③ 看護助手：6名 当院ホームページ、ハローワーク、人材紹介会社などを通じて、雇用していく予定です。現在、看護助手の採用は、人材紹介会社を通じて行うことが多いですが、希望者はあるため、現在の雇用形態、処遇にて採用可能と考えています。

病院整備計画申出者（法人名）医療法人あかつき会

④ 薬剤師：1名
⑤ リハビリスタッフ（PT・OT）：2名
⑥ MSW：1名
⑦ 事務：2名
ハローワーク、人材紹介会社などを通じて、雇用していく予定です。

(5) スケジュール

No	項目	計画年月	備考
1	開設（変更）許可（医療法）	令和5年5月	
2	建築（着工）	令和5年5月	
3	建築（竣工）	令和5年7月末	
4	医療従事者の確保	令和5年8月	
5	使用許可（医療法）	令和5年8月	
6	開設（増床）	令和5年9月	